

IFTAUPDATE

2025 Volume 32 Issue 1

IN THIS ISSUE

- 1 President's Report to Colleagues
- 3 Member News
- 7 IFTA 2025 Conference
- 8 Bronwen Wood 2024 Award
- 9 How High is the High
- 15 Lifetime Achievement 2024 Award
- 16 Congratulations New CFTes
- 17 IFTA Call for Submissions
- 18 Calendar-at-a-Glance
- 21 IFTA Member Societies
- 21 IFTA Update Schedule
- 21 Board of Directors
- 21 IFTA Staff

Next Issue: June 2025

Submission Deadline: 15 May

Education Lounge articles: Send submissions to newsletter@ifta.org.

All other content: Send submissions to admin@ifta.org.

Advertise in the UPDATE and reach more than 7,000+ IFTA colleagues worldwide. For more information, go to www.ifta.org.

a newsletter for the colleagues of the International Federation of Technical Analysts

The IFTA UPDATE is a publication of the International Federation of Technical Analysts, Inc. www.ifta.org, a not-for-profit professional organization incorporated in 1986.

International Federation of Technical Analysts
1300 Piccard Drive, Suite LL 14
Rockville, MD 20850 USA
Email: admin@ifta.org • Phone: +1 (240) 404-6508

会員の皆様へ会長レポート



親愛なる会員の皆様へ

誰が、何が市場を動かすのか？この問いは市場そのものと同じくらい古くからあり、決して廃れることはありません。

それは、価格だと言うこともできます。高すぎると感じれば売り、安すぎると感じれば買い始める。しかし、価格が高すぎる、安すぎると考えられる理由は何でしょうか？

それは明らかにファンダメンタルズによるものだ、と言うこともできます。しかし、価格が高い、安いと判断される理由はそれだけではありません。もっとあります。なぜでしょうか？最近の出来事を見てみましょう：

AIを愛するハイテク業界が2025年1月27日にディープシークという新参者のニュースを受け取ったとき、S&P500株価指数は金曜日の終値から100ポイント以上の急落に見舞われました。ニュースによって価格が決まるのは明らかにも思えます。しかし、本当にそうなのでしょうか？ニュースはこれから起こることのきっかけに過ぎないとも考えられます？

S&P500E-1先物期近物の日足チャートを見ると、2025年1月24日（金）抵抗線を突破して史上最高値を更新し、その後、終値はマイナスになりました。テクニカル・アナリストであれば、このチャートを見てこう思うかもしれません...史上最高値へのフォールス・ブレイクと、8日間の上昇の後の暗雲カバーを見て、相場が修正されようとしていると。フォールス・ブレイクやローソク足だけでなく、価格がレンジの中で動いていることや、すでに上値抵抗線に到達しており、そこからすでに拒否されているという事実もあります。テクニカル・アナリストとしてのあなたの結論はこうでしょう：月曜日、相場は反転するだろう。



会員の皆様へ会長レポート (続き)

では、誰が正しいのでしょうか？そして誰が、何が市場を動かしているのでしょうか？テクニカル・アナリストとして私はこう申し上げたい：前8日間の動きは力尽きている、人々は利益をとろうとしている。それ故、相場は直近のサポートに落ちることになると考えられます。

ファンダメンタルズ・アナリストとしては、ニュースを聞くと、それが何を意味するのかを理解しようとしています。ここ数日の利益を見て、それを確保して取引を終了しようとするかもしれません。

あなたはどうか考えますか？何が市場を動かすのでしょうか？私は、相場が動くには理由が必要だと考えます。それがファンダメンタルズです。

しかし、反応ゾーンに関しては、チャートが物語ることになります。

テクニカル・アナリストであれば、次に何が起こるか、すでに見当がついています。

どのような触媒が使われようとも、それを実現するためのイベントを準備する。それがテクニカル・アナリストとしての強みです！

同業者の皆様、テクニカル分析について直接話し合いましょう。IFTAの第38回コンファレンスを2025年9月26日から28日までドイツのフランクフルト/マインで開催致します。

「テクニカル分析の新たな地平を探る」に焦点をあて、IFTAはドイツテクニカルアナリスト協会の支援のもと、「テクニカル分析」、「世界チャンピオンの勝利戦略」、「オプション、ポートフォリオ管理」をテーマとした3日間のコンファレンスを開催します。

世界各国からの友人やゲストをお招きし、テクニカル分析の新たな地平を探ります。フランクフルトでお会いしましょう！それではまた。

よろしく申し上げます。



ヴェーラント・アール
IFTA会長